

一緒に  
有機とまとをつくろう！

いま、若い有機栽培農家が元気です！

募集人数：2名



## 就農までの流れ

受入農家で丁寧な  
指導を行います

## 就農相談

- ・応募
- ・面接選考
- ・体験研修

受入農家  
決定

農家研修

(1年～2年)

就農



## 支援について

- 農業を始めるには、多くのサポートが必要です。  
大豊町では、以下の体制を整備しています。

- ・大豊とまとの会：受入農家を含む有機栽培農家を中心とした生産組織。大豊町のとまと農家なら誰でも入れます。
- ・(株)大豊ゆとりファーム：技術指導、農地の情報提供、販路の支援等
- ・大豊町：住居の整備、空き家紹介、ハウス整備事業、ほか各種相談
- ・JA土佐れいほく：部会活動への参加、販路の活用等
- ・嶺北農業改良普及所：技術・経営指導を中心に、農業に関わる課題全般に対応します。気軽にご相談ください。
- ・大豊町担い手育成総合支援協議会：研修・就農支援等

- 研修中は、年間180万円を支給します。  
(※支給には要件があります。また、研修終了後1年以内に就農しなかった場合には全額返還していただきます。)



先輩農家

愛情込めた  
おいしいとまと  
です！

大豊とまとの会

関係機関で構成する新規就農支援組織です。研修から就農、そして就農後の営農まで、個人に応じた支援を行います。



大豊町担い手育成総合支援協議会

仲間と共に  
学べます！  
(懇親会も！)



どうぞ気軽にご連絡ください！

問い合わせ先：大豊町担い手育成総合支援協議会事務局（大豊町産業建設課「農業センター」）  
高知県長岡郡大豊町黒石343番地1 TEL：0887-73-0978 FAX：0887-73-1004  
メール：[a-mino@town.otoyo.lg.jp](mailto:a-mino@town.otoyo.lg.jp) ホームページ：<http://otoyo-nogyo.jp/>

# 大豊町での就農イメージ

## 農家研修

(1～2年)

営農開始  
大豊町内

中核農家  
地域の牽引役

大豊町は、90年代頃まではトマト産地として名を馳せていましたが、高齢・過疎化により産地は衰退し、以前の栄光も伝説となっていました。時は経ち、一人の若者が大豊町で就農し、ミニトマトの有機栽培を始めると、不思議なことに年々若い有機農家が大豊町で就農し、今では多くの仲間がミニトマトを栽培しています。大豊町のトマトは、新たな力を得て復活の兆しが見えてきました。



## 求める人材

- 年齢40歳以下で、大豊町に居住し就農できる方
- 地域の担い手として、地域活動に参加できる方
- 手間をかけてでも有機農業を実践しようとする  
しっかりとした考えのある方

※研修受入は「大豊町担い手育成総合支援協議会」による面接選考により決定します。  
※研修中や就農当初(2年程度)の生活費、初期経費として300万円程度必要です。  
※ご家族で住居を検討されている場合など、ご相談に応じます。

## 大豊町について

高知県長岡郡大豊町は四国のほぼ中央に位置する嶺北地域(大豊町、本山町、土佐町、大川村の4町村)にあり、標高200～1,400m 平均450mの山間地帯です。人口4,000人あまり(高齢化率55.8%／H28)の小さな町で、年平均気温は約14℃と夏は涼しく、冬は高知県では珍しく雪化粧が見られることもあります。有機栽培農家の就農者数は県内でもトップクラスです。

- 保育所: 3園
- 小学校: 1校、中学校: 1校
- 医療施設: 3所、歯科診療所: 1所



## 例 【就農時の収入のイメージ】

例：ミニトマト10a＋ハウレンソウ5a → 所得250万円

※就農の例であり、気象条件等により、所得には変動があります。※希望に応じた体験研修も可能です。(期間・内容等)

## 大豊町における有機栽培の推奨品目



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
--	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----



◆ = 播種 ▲ = 定植 ◆◆ = 栽培管理

